

情報収集日：2023年1月

アメリカで 理学療法士に なるために



アメリカ理学療法士になるために必要なステップ³つ

※Transitional DPTという短期の大学院を利用する場合を中心に

1. 現地大学院へ行く
2. 理学療法士免許を申請する
3. 国家試験に合格する

アメリカで働くために

- ・ 就労VISA手続きに進むための証書を得る手続き

ステップ1. 現地大学院へ行く

アメリカ現地の方が理学療法士になるためには通常大学を卒業後、3年間の理学療法養成大学院に入学・卒業する必要があります。修士課程はなく、すべて博士課程DPT (Doctor of Physical Therapy) です。他国で免許を取得している場合は短期のTransitional DPT courseというものがあるので、そちらに入る方も多いです。

- ・アメリカの大学院に入学試験はほとんどありません。
- ・しかし、英語を母国語としない方には英語のスコアや、民間企業・団体によって運営される全国共通の試験GRE*の結果を求められることがあります。

*GREについて：<https://www.jp.ets.org/gre.html>

入学時に求められる書類の例

- ・日本の成績証明書の英語版

WES：英文成績証明書を作成してくれるサービス

詳細はこちら (World Education Service; WES ウェブサイト)

https://www.wes.org/?gclid=Cj0KCQiAiJSeBhCCARIsAHnAzT8NcU1o8TWOl5NtNfP6BKcX5X1M3bFqY-jU_7KKtHjAaV_nQA1hqpoaAmodEALw_wcB

- ・英語能力：TOEFLスコア 80/120点 (大学院入学の最低ライン)

ステップ2. 理学療法士免許申請

単位審査： 受験のための必要な単位を取得できているか

- 必要書類**
- 英文翻訳されたシラバス（日本の養成校、アメリカでの大学院）
 - 日本での理学療法士免許の提出（英語版、厚生労働省へ依頼）
 - 州によっては英語力試験TOEFLの結果
 - ECR (educational credential review)

・ FCCPT：単位審査の機関

ECRをCWT5 or CWT6のどちらかで申請を行います。

<https://www.fccpt.org/Primary-Services/Primary-Services-Summary/Educational-Credentials-Review>

※CWTとは：FSBPTにより制定された、外国人理学療法士の教育的同等性を評価するための標準化されたツール。
詳細はこちら→<https://www.fsbpt.org/Free-Resources/Regulatory-Resources/Coursework-Tools-CWT>

※NY verification：NY州では、NYSEDというNY側の機関でNY州専用の評価を受ける（CWT5と基準はほぼ同等）。
詳細はこちら→<https://www.fccpt.org/Primary-Services/Primary-Services-Summary/New-York-Credentials-Verification>

ステップ3. 国家試験に合格する

国家試験申請：

- ・ 国家試験受験資格（CWT5、CWT6(ECRの結果)またはNY verification、TOEFL等)
- ・ FSBPTからの最終卒業校の認定（日本の学校卒業のみの時点で受ける場合は審査要）
 - ETS（テストセンター）にお金を払い、国家試験受験の席を確保する。

・ FSBPT：国家試験の管轄機関

- ・ 国家試験の申し込み：<https://www.fsbpt.org/>
- ・ 5時間にわたるオンライン試験

詳細はこちら（FSBPT国家試験の案内）

<https://www.fsbpt.org/Secondary-Pages/Exam-Candidates/National-Exam-NPTE>

アメリカで働くために

アメリカで理学療法士の資格を取得しても、VISAがなければ働くことができません。
(国家試験と同じまたはそれ以上にVISAが重要!!!)

Optional Practical Training; OPT VISA

- ・ 留学生がアメリカの大学を卒業した後、最大1年間まではアメリカに滞在して、専攻と同じ分野の仕事に就いてもよいという制度。
- ・ VISAのタイプは学生VISA (F-1) になる。
1年以上、アメリカで働きたい場合は就労ビザの申請、取得が必要になる

VISAに関する詳細はこちら <https://www.ustraveldocs.com/jp/ja/>

アメリカで働くために

*大学卒業後に与えられる1年のOPT VISA以上に働きたい場合の就労VISA申請に必要な証書

Health Care Worker Certification*を得る手続き

FCCPT：審査機関でType 1 reviewを受ける

- ・ Type 1 reviewの基準：170単位（CWT6、2017年以降はどの州であろうが必須）
+ 40単位（どんな分野でもよい）を取得できているかの審査

必要書類

- ・ 英語力の証明：TOEFL 89/120、Speaking 26/30点

※アメリカの理学療法関連大学または大学院を卒業していれば免除の州もある

- ・ 国家試験合格通知
- ・ 卒業校全てのシラバスおよびOnline単位取得機関（CLEPなど）の結果

※CLEPについて詳細はこちら (<https://clep.collegeboard.org/>)

詳細はこちら

[https://www.fccpt.org/Primary-Services/Primary-Services-Summary/New-York-Credentials-Verification\)%E2%86%92NYSED](https://www.fccpt.org/Primary-Services/Primary-Services-Summary/New-York-Credentials-Verification)%E2%86%92NYSED)

※これ自体はVISA取得の申請ではなく、就職先に就労VISAを申請してもらうための必要書類であるHealth Care Worker Certificationを得るためのものです。

語学試験について

- ・ 国家試験を受けるための基準 (FSBPT)

TOEFL基準：Total 89 R22 L21 W22 S24

<https://www.fsbpt.org/Secondary-Pages/Exam-Candidates/National-Exam-NPTE/Eligibility-Requirements>

※州が定めた英語力試験基準が優先され、要求されない場合もある。

各州の要件については各州のウェブサイトより確認可能。

<https://www.fsbpt.org/Free-Resources/Licensing-Authorities-Contact-Information>

- ・ 就労VISAのための基準

Type 1 reviewのTOEFL基準：Total 89 Speaking 26

※こちらもアメリカ現地大学院卒業で免除になる州がある

<https://www.fccpt.org/Requirements/How-to-Apply/TOEFL-Requirements>

情報提供者：須賀 康平氏

Q. 働く場所をどうやって決めましたか？

- ・ 世界の中心と言われるNYで臨床家として認められてみたかった
(ペンシルバニアとハワイ州のライセンスも念のため保持はしていた)
- ・ 1時間関わって質の高い診療を提供できる
- ・ 周りの同僚のスキルが非常に高い
- ・ 英語と日本語両方使うので、能力を最大限発揮できる
(執筆時は英語対応8-9割、日本語対応1-2割)
- ・ 就労VISAのサポートがある

詳細はこちらです。 <https://funcphysio.com/dr-suga/>

Q. 申請してから働き始めるまでの期間はどれくらいでしたか？

2015年：最初の英語力試験受験

2018年6月：シラバスなどの準備をしてニューヨーク免許の申請

2019年11月：FCCPTとNYSED（NY州）からの国家試験受験許可

2020年1月：NY州国家試験受験

2022年1月：NY州で就労開始



情報提供者：須賀 康平氏

学歴：

2005 山形県立保健医療大学保健医療学部理学療法学科入学

2009 山形県立保健医療大学保健医療学部理学療法学科卒業

2011 山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻修士課程入学

2013 山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻修士課程卒業

2019 9月 ロマリンダ大学Post-Professional Doctor of Physical Therapy course (prior master's)入学 (アメリカ)

2020 8月 ロマリンダ大学Post-Professional Doctor of Physical Therapy course (prior master's)卒業 (アメリカ)

2021 1月 ピッツバーグ大学 Musculoskeletal concentration course 入学 (アメリカ)

2021 12月 ピッツバーグ大学 Musculoskeletal concentration course 卒業 (アメリカ)

職歴：

2009 済生会山形済生病院入職

2018 済生会山形済生病院退職

2018 自費リハビリPhysical Conditioning IKI (イキ) 創業

2022 FuncPhysio NY入職

お問い合わせ：wp.me/P9uYpR-lc

Twitter：https://twitter.com/suga_kohei

その他（海外に興味のある若手のためになる情報など）

1. FCCPTにおける手続きやVISA取得の流れなどの英語で有料相談ができます
(ただし、最終的なVISAに関しては移民弁護士への確認が必ず必要)

<https://factspt.org/>

2. アメリカ留学に関連したインタビュー記事

<https://1post.jp/4589>

3. 英語圏の数カ国の留学に関する情報Facebookグループ

<https://facebook.com/groups/352644232074405/?ref=share>

4. アメリカの理学療法士国家試験についてなどのYouTube

<https://youtu.be/Fzi8dCs6SQM>

5. LinkedIn profile

<https://www.linkedin.com/in/kohei-suga-40b632188/>

6. リハノメ：アメリカ理学療法士免許とVISAに関する動画（2023/8/25公開）

<https://www.gene-llc.jp/rehanome/contents/41f896ab32833ddc45f0f73afcf2b0cc2f3dc17f/>

こちらの情報は2023年1月時点での情報です。

※こちらの情報すべてで必ずアメリカで理学療法士として働くことができるわけではありません。

※最新情報については、ご自身で責任をもって情報収集をしてください。

※情報収集やお問い合わせなどのプロセスも海外で働くために必要となる能力です。